

給与支払報告書（個人別明細書）の記入について

記入例

8 給与支払報告書（個人別明細書）

※ 種別 ※ 整理番号 ※											
※ 区分:											
① 支払を受ける者											
住所 大田原市本町1-2-3											
(受給者番号) AB0123											
(個人番号) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3											
(役職名) 係長											
氏名 (フリガナ) オオタワラ セイタ											
大田原 税太											
種別		支払金額		給与所得控除後の金額 (調整控除後)		所得控除の額の合計額		② 源泉徴収税額			
給与・賞与		5 000 000		3 560 000		2 870 000		0			
(源泉)控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別)控除の額		③ 控除対象扶養親族等の数 (配偶者を除く。)		16歳未満扶養親族の数		障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数	
有 従有		千 円		人 従人		人 従人		人 従人		人 従人	
○		380 000		1 1		1 1		1 1			
④ 特定親族特別控除の額		社会保険料等の金額		④ 生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額			
千 円		千 円		千 円		千 円		千 円			
610 000		500 000		120 000				44 400			
⑤ (摘要) (前職) 大田原市美原△△ 有限会社 □□工業 令和7年3月31日退職 給与 1,200,000円 社会保険料 120,000円 源泉徴収税額 0円 普F 令和8年3月31日退職予定											
⑥ 生命保険料の金額の内訳		円		円		円		円		円	
新生命保険料の金額		180,000		介護医療保険料の金額		36,000		新個人年金保険料の金額		旧個人年金保険料の金額	
円		円		円		円		円		円	
115,000		31 3 14		200,000		50,000		120,000			
⑦ 住宅借入金等特別控除の内訳		円		円		円		円		円	
住宅借入金等特別控除適用数		居住開始年月日 (1回目)		住宅借入金等特別控除区分 (1回目)		住宅借入金等特別控除区分 (2回目)		住宅借入金等特別控除区分 (2回目)		住宅借入金等特別控除の額	
1		31 3 14		住(特)		住(特)		住(特)		11,500,000	
115,000											
⑨ (フリガナ) オオタワラ ハナコ											
(源泉・特別)控除対象配偶者											
氏名 大田原 花子											
配偶者の合計所得 200,000											
個人番号 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 5 6											
⑧ 国民年金保険料等の金額											
円											
50,000											
基礎控除の額 680,000											
所得金額調整控除額											
⑩ 控除対象扶養親族等											
1 (フリガナ) オオタワラ タロウ											
氏名 大田原 太郎											
個人番号 7 8 9 1 2 3 4 5 6 7 8 9											
2 (フリガナ) オオタワラ ジロウ											
氏名 大田原 二郎											
個人番号 9 8 7 6 5 4 3 2 1 2 3 4											
3 (フリガナ)											
氏名											
個人番号											
4 (フリガナ)											
氏名											
個人番号											
⑫ 中途就・退職											
⑬ 受給者生年月日											
○ 7 4 1 昭和 52 3 2											
⑮ 支払者											
個人番号又は法人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 (右詰で記入してください。)											
住所(居所)又は所在地 栃木県大田原市本町3-25-1											
氏名又は名称 株式会社 ○△建設 (電話) 0287-28-0000											

(摘要)に前職分の加算額、支払者等を記入してください。

詳しい記入方法は、国税庁の「令和7年分給与と所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」をご参照ください。

記入上の注意

項目	注意事項
① 支払を受ける者	住所又は居所 令和8年1月1日現在の住民登録地(退職者は退職時点の住所)を記入してください。 個人番号(マイナンバー) 受給者の個人番号を記入してください。 氏名 必ずフリガナを記入してください。 受給者番号 事業所等において受給者番号を必要とする場合には、記入してください。税額通知(納税義務者用)の電子受取を希望する場合は必須です。
② 源泉徴収税額	復興特別所得税を含めて記入してください。
③ 扶養親族の人数	控除対象扶養親族及び16歳未満扶養親族の数を記入してください。
④ 生命保険料の控除額	生命保険の支払額とは異なりますので、よくご確認ください。
⑤ 摘要欄	普通徴収の場合 普通徴収とする理由(普A等の符号)を記入してください。 青色専従者の場合 「青専」と記入してください。 前職分を含めて年末調整をした場合 記入例を参考に「前職分の支払者の所在地・名称」「支払金額」「社会保険料」「源泉徴収税額」「退職日」を必ず記入してください。 同一生計配偶者がいる場合 「同配(配偶者氏名)」と記入してください。 退職手当等の支払いを受ける配偶者または扶養親族がいる場合 「氏名(退)」「配偶者・扶養親族の区分」「生年月日」「住所」「対象者の合計所得金額の見積額」を記入してください。
⑥ 生命保険料の金額の内訳	保険料の支払額を記入してください。 ※記入漏れが目立ちますので、必ず記入してください。 住宅借入金特別控除がある場合は必ず記入してください。 住宅借入金等特別控除区分 適用を受けている区分を次のように記入してください。 住：一般の住宅(増改築等を含む) 認：認定住宅 増：特定増改築等 震：震災被災者の再取得 ※上記のほか、この控除に係る住宅の新築、取得または増改築等が「特定取得」(特別特定取得以外)に該当する場合には「(特)」、「特別特定取得」に該当する場合(「特例取得」及び「特別特例取得」を含む)には「(特特)」、「特例特別特例取得」に該当する場合には「(特特特)」と併記してください。 ※誤った選択をすると住民税に影響する恐れがあります。
⑧ 国民年金保険料等の金額	年末調整において、社会保険料控除とした国民年金保険料や国民健康保険料がある場合はその金額を記入してください。
⑨ (源泉・特別)控除対象配偶者	・対象者の氏名・フリガナ・個人番号を記入してください。 ・(源泉・特別)控除対象配偶者、控除対象扶養親族、16歳未満の扶養親族で記入する場所が異なるので注意してください。
⑩ 控除対象扶養親族	・特定親族特別控除の適用を受けた場合は、特定親族各人別の特定親族特別控除の額に応じて、区分の欄に数字を記入してください。 ※区分は国税庁の「令和7年分給与と所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」を参照してください。
⑪ 16歳未満扶養親族	※区分は国税庁の「令和7年分給与と所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」を参照してください。
⑫ 中途就・退職	年の途中で就職または退職した方は日付を記入してください。
⑬ 受給者生年月日	受給者の生年月日を必ず記入してください。
⑭ 特定親族特別控除の額	「給与と所得者の特定親族特別控除申告書」に基づいて控除した特定親族特別控除の額を記入してください。
⑮ 支払者	支払者の法人番号もしくは個人番号を記入してください。

(市区町村提出用)